

## 高病原性鳥インフルエンザ発生に備えた リスクマネジメント

南丹家畜保健衛生所

○黒田洋二郎 塚本智子 藤永翼 山本哲也 山内昭

【はじめに】当所では、高病原性鳥インフルエンザ（H P A I）の発生に備え、平時から防疫マップの整備や防疫演習等を実施。昨年度の演習にて、振興局等の職員で構成され農場の初動防疫を担うスターターチームとの連携に課題が生じたことから、これを機に、所内の危機管理体制の一層の強化を図るため、本病発生時に想定されるリスクを全所員で改めて検証し、リスク低減の取組を実施。【リスク検証】①初動防疫の遅れ②周辺農場の混乱③風評被害への対策強化が必要と判断。【対応】①スターターチームの作業を実際に行い、適切な連携方法を確認。その後実施した防疫演習では、円滑に作業ができたとするチーム員の割合が昨年度の42%から100%に向上。②発生時、周辺農家に遅滞なく防疫対応を指示するため、衛生情報の雛形や説明資料を作成。また、GPセンターや食鳥処理場の再開要件該当状況について現地調査を実施し、早期再開の必要要件を農家に提示。③3校の高・大学生を対象にH P A I等の急性悪性伝染病に関する講習会を開催。学生が興味を持つテーマを交えて実施したところ、発生時に畜産物の安全性に不安を持つ学生の割合が46%から12%に低下。【まとめ】全所員の共通認識の基でリスクマネジメントを実施することにより、個々の危機管理意識が向上し、所内の危機管理体制も強化。